

みのわだより

令和7年 1月発行 415号

verde

「verde」とは、ポルトガル語で「緑の」という意味です。



ベルジ箕輪

ベルジ株式会社 有料老人ホーム ベルジ箕輪
発行責任者 専務取締役 大久保健司
支配人 高木 正幸

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝 839-4
Tel 027-371-6610 / Fax 027-371-6613
E-mail minowa@e-verde.co.jp
URL <http://www.e-verde.co.jp>

ホームページにてブログも更新しております。そちらも是非ご覧ください

1月の出来事

厄除招福

昨年は元日から胸の痛むことがありました。焼け落ちる家屋を映像で見た時、そこで暮らす人々の無事や、共に暮らす動物達の安否、様々な不安と心配でお正月をお正月らしく過ごすことが出来なかったことを思い出します。毎年支配人に初日の出の撮影をお願いしていますが、例年通り初日の出が拝め、心より感謝礼拝。



初日の出



氏神様へ初詣。氏神様は地域を守ってくださる神様です。新年のご挨拶と今年もお守りいただくことのお願いを伝えることが初詣のご作法とされております。本来ならば皆さま全員でお参りしたいところですが、代表して四名様にお参りしていただきました。二度お辞儀をして、拍手を二回打ち、最後に一度お辞儀して皆さまの無病息災を願いました。



初詣

お正月の伝統行事である「書初め」には歳神様への感謝や、これからの一年の無事を祈願するものという意味がありますが、皆さまの書き初めは「元旦」や「春」またはお名前など、好きなように書いて頂きました。硯に墨を磨り、真っ黒になった墨汁に筆を浸し、真っ白な半紙に筆を下ろしたときの緊張する瞬間、すっとひいた一筆の出来栄えで書が決まるような気がして、とめ、はね、はらいを意識しながら、手を真っ黒にして書いたことを思い出します。昨今は筆離れが進み筆で文字を書く機会が減少するなかで、子供の頃は嫌でたまらなかった書道でしたが、時を経て文字の奥ゆかしさを知り、筆で美文字が書けるようにしておけばよかったと後悔することのヒトツです。

書初め



1月11日、年神様のいらっしゃる松の内を過ぎてから行う鏡開き。お供えしたお餅をいただくことでこれからの一年、無病息災で幸せに過ごせるように祈りながら食べる習わしですが、お餅は召し上がれる方が限られてしまうので、皆さまで召し上がれる甘酒で無病息災を祈願いたしました。

箕輪別館では甘酒に職員よりの年賀状の御挨拶を添えました。「今年もよろしくお祈りします。」と言葉を添えながらお渡しすると「今年もよろしくね。」と皆さまの笑顔が反ってきました。

郵便料金の値上げで年賀状じまいなさる方が増えたようですが、日本ならではの優しい文化が消えぬことを願うばかりです。



甘酒



ガーデニング

裸の枝が寒々しく、窓辺の景色は冬の様相。菜の花や桜が賑わう春はまだ先なので、こんな寒さにも耐えてくれるガッツあるお花をお庭に迎えました。赤や黄色や桃色のカラフルなお花があるだけで、気分が上がります。「キレイね」「今日も元気？」天気の良い日には、日向ぼっこをしている皆さまの相棒となっております。寒風の中、窓越しに眺めるプランターにちょこんと佇む愛らしいお花が元気で咲いていると、負けていられぬと心のガッツを貰っています。

さるぼぼ

「さるぼぼ作ったの、南天の枝に飾りたいんだけど」とご依頼されたのですが、お庭に南天の木がなく、他の木を伐採。見事お眼鏡にかなった枝があったので、皆に内緒で作業。さるぼぼが枝にしっかりとしがみつくとステキな笑顔がこぼれました。「さるぼぼ」とは岐阜県飛騨地方に伝わる猿の形をした真っ赤な人形のイメージですが、子どもの成長や健康を願う意味が込められているお人形です。「さる」には、困難や災い、病気が「去る」という意味をもち、こちらの9頭のさるぼぼには苦難（9なん）サルという深い意味を込めたのだそうです。



みのわ看護通信



ノロウイルス予防

ノロウイルスとは感染性胃腸炎や食中毒を起こすウイルスです。症状として、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛、発熱などがあります。肺炎や窒息のリスクがあり、脱水症状にも注意が必要です。アルコール消毒が効かないので、うがいと手洗いの徹底が感染予防となります。また消毒をする際には塩素系漂白剤や次亜塩素酸ナトリウムが有効です。お口の中を清潔に保つこと、マスクをすること、手洗いうがいでノロウイルスの感染を防ぎましょう！

指の間、手首までしっかりと洗いましょう



看護大久保チーフ



みのわ情報

地域交流を目的とした訪問ボランティアを募集しています。趣味で歌や楽器演奏、踊り、落語や漫談、手品、バルーンアート、人形劇などを披露して頂ける個人・団体様がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。経験は問いません。お気軽にお問合せください。お待ちしております。

編集後記

今年の節分は124年ぶりに2月2日でした。その理由は節分は立春の前日と決まっているから。節分が3日でないのはなんだか違和感があるのですが、暦の上では春になるのだと、関東で降雪の予報を聞きながら2日の節分と暦上の春、妙なマッチングに微かに心がざわつきました。寒く乾燥するこの季節は免疫機能が低下し人間も動物も感染症が流行します。体温が下がり血の巡りが滞ることで免疫が低下すると言われていています。免疫力は感染症にかからない為の要。身体を温め、腸内環境を整え、睡眠を十分とる。その当たり前の健康生活がなかなか難しい。手軽なカップラーメンで食事を済ませ、睡眠時間を欠いての動物のお世話。そこにきての光熱費の請求は目を見開くほどの数字、エアコンの使用を控えたくて、薪ストーブがある家のチラシを見ては「こんな家だったら暖かいんだろうな」とないものねだり。数カ月の寒さを凌ぐために家を建て替えられる度胸があれば人生が変わりそうだなと思いながら、ホームセンターのリフォームコーナーで、まだ現実的な費用を眺め「やっぱりファンヒーターを買って帰ろう」と猫屋敷を暖める救世主を連れて帰りました。湯たんぽで低温火傷してしまう私は、薪ストーブのある家で、薄着で犬と猫と穏やかに暮らすYouTubeをみて、明日道端のゴミを拾い、徳を積むしかないと思うのでした。

編集担当：須藤